

息子の問題行動と学校等の対応について(小学1年)

問題行動	時期			学校の対応策	親の対応策	メモ	
	1学期	2学期	3学期				
Tシャツの襟口を毎日のように噛みちぎる。	→					<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、購入した服がすぐダメになるので、安価なGUの服ばかりを買っていた。 ・2学期になると学校で服を噛みちぎることはなくなった。(ただし、襟口を時々、口に入れる行動はなくなっていない。) 	
教科書等を2階にある教室から落とす。	→			<ul style="list-style-type: none"> ・息子の席を窓側から廊下側に移動する。 ・すだれを設置する。 	息子が休み時間などに休むことができない個別のブースを作る。		
授業中に席を立つ。	→			<ul style="list-style-type: none"> ・支援員を配置。(ただし、支援員がついていない時間帯も多かった。) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ADHD治療薬の服用 ⇒ほとんど効果がなかった。 	
授業中に時々変な声を出す。	→					<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援の申請 ⇒学校側は、支援センター職員の訪問支援の受入れには消極的で、結果的に支援センター職員の訪問は1回のみであった。(市内でも訪問支援を積極的に受け入れているところとそうでないところがある。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・座ってられる時間は徐々に長くなった。(小1・3学期終了時点で”授業開始から15～20分程度”)
先生の指示にすぐに従わない。	→						
鉛筆をよく噛む。	→						
大きな音が苦手です。手で耳を塞ぐ。	→			<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の練習のときに、イヤーマフをさせる。 			